

令和 7 年 度

新宿区立新宿歴史博物館等文化・歴史施設
指定管理者の管理業務に係る事業評価結果
(新宿区立新宿歴史博物館)

令和 8 年 1 0 月

新宿区

目 次

I	評価の目的	1
II	施設の概要	2
III	評価の概要	3
IV	評価結果	
1	評価結果	4
2	各項目に対する個別評価	5
3	全体評価	7

◎評価資料（指定管理者提出資料）

1	利用率・稼働率	(資料1)	9
2	利用・サービスに関すること	(資料2)	11
3	省エネルギー・省資源	(資料3)	19
4	管理運営経費に関すること	(資料4)	20
5	事業に関すること	(資料5)	27

◎参考資料

1	新宿歴史博物館等文化・歴史施設の指定管理者の 管理業務に係る事業評価に関する要綱	(参考資料1)	33
2	事業評価委員会委員名簿	(参考資料2)	35
3	事業評価委員会開催実績	(参考資料3)	36

I 評価の目的

「新宿歴史博物館」は、新宿区の豊かな歴史・文化資源を「まちの記憶」として多くの方々と共有し、未来へと継承していくため、新宿区が平成元年 1 月に開設した施設です。

新宿区では、指定管理者制度を導入している施設について、指定管理者から提出された事業計画書及び区と指定管理者が締結する協定書のとおり事業が実施されたかを検証するため、外部の委員の参画による事業評価委員会を設置し、事業評価を実施することとしています。これに基づき、令和 8 年 7 月 31 日、新宿歴史博物館等文化・歴史施設指定管理者事業評価委員会を開催しました。

新宿歴史博物館の運営については、平成 18 年度に指定管理者制度が導入され、財団法人新宿区生涯学習財団が指定管理者としてその業務を担いました。平成 21 年度末に財団法人新宿区生涯学習財団が廃止され、その機能を引き継いだ公益財団法人新宿未来創造財団が新たに平成 22 年 4 月 1 日に発足し、平成 22 年度以降、同財団が新宿歴史博物館の管理運営を実施しています。今回の評価対象期間は令和 7 年度の 1 年間となります。

この報告書は、同事業評価委員会による評価結果を踏まえて区の評価をまとめたものです。評価結果は、今後の管理運営業務の改善及びサービスのより一層の向上のため、公益財団法人新宿未来創造財団に通知することとします。

Ⅱ 施設の概要

- 1 施設の名称 新宿区立新宿歴史博物館
- 2 所在地 東京都新宿区四谷三栄町 12 番 16 号
- 3 規模 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上 3 階 地下 2 階建
敷地面積 2,957.18 m² 延床面積 3,845.66 m²
- 4 開設年月 平成元年 1 月 29 日開館

5 施設

施設 内容	3 階	積層書庫
	2 階	講堂、図書閲覧室、会議室、ホワイエ、重要資料収蔵庫 1・2、積層書庫、事務室
	1 階	エントランスホール、荷解室、洗浄室、警備員室
	地下 1 階	常設展示室、企画展示室、休憩コーナー、ホワイエ、特別収蔵庫
	地下 2 階	一般収蔵庫、中央監視室、機械室

6 休館日

- (1) 原則として第 2、第 4 月曜日
(ただし、月曜日が休日の場合は直後の休日でない日)
- (2) 年末年始

- 7 開館時間 午前 9 時 30 分から午後 5 時 30 分まで

- 8 指定管理者 公益財団法人新宿未来創造財団

9 管理運営業務の概要

- (1) 博物館の運営業務
利用承認、利用料金の収納、職員の配置、人材育成、危機管理等
- (2) 施設の管理業務
博物館の施設、附属設備その他の設備の維持管理に関する業務等
- (3) その他博物館に関し、区が必要と認める業務

Ⅲ 評価の概要

「新宿歴史博物館等文化・歴史施設の指定管理者の管理業務に係る事業評価に関する要綱」に基づき行いました。

1 事業評価委員会

- (1) 名称 新宿歴史博物館等文化・歴史施設指定管理者事業評価委員会
- (2) 構成 委員 6名（外部委員4名、内部委員2名）

2 評価対象期間

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

3 評価項目

- (1) 施設の運営に関すること
- (2) 利用・サービスに関すること
- (3) 施設・設備の管理に関すること
- (4) 管理運営経費に関すること
- (5) 事業に関すること

4 評価方法

指定管理者から提出された「令和7年度事業報告書」及び関連資料のほか、事業評価委員会開催日当日における指定管理者からの説明・質疑応答を踏まえ、各委員が下記基準(1)により個別評価・総合評価を行いました。

各委員の評価点の平均を踏まえ区が個別評価・総合評価を決定し、総合評価の点数を下記基準(2)を参考に振り分けて全体評価を決定しました。

(1) 評価基準

評価点	評語	
4	優良	事業計画等で求められる水準を超えて良好であり、〇〇の点で特に評価できる
3	良	事業計画等で求められる水準を超えて良好である
2	適当	事業計画等で求められる水準を満たしている
1	課題あり	事業計画等で求められる水準を満たしておらず、改善を要する

(2) 全体評価の基準

総合評価	全体評価
3.5 以上	4 優良
2.5 以上 3.5 未満	3 良
1.5 以上 2.5 未満	2 適当
1.0 以上 1.5 未満	1 課題あり

IV 評価結果

1 評価結果

各委員による評価を踏まえ、以下のとおり区が決定しました。

個別評価		評価
1	施設の運営に関すること	2. 8
2	利用・サービスに関すること	3. 1
3	施設・設備の管理に関すること	2. 9
4	管理運営経費に関すること	2. 9
5	事業に関すること	3. 2
総 合 評 価		3. 0
全体評価		3 (良)

<参考：各委員の評価>

		A	B	C	D	E	F	平均
個別評価	1 施設の運営に関すること		3.4	3.0	3.4	2.3	2.0	2.8
	2 利用・サービスに関すること		3.7	3.0	3.7	2.5	2.5	3.1
	3 施設・設備の管理に関すること		3.0	3.0	3.7	2.3	2.7	2.9
	4 管理運営経費に関すること		3.0	3.0	3.7	2.3	2.3	2.9
	5 事業に関すること		4.0	3.0	4.0	3.0	2.0	3.2
総合評価			3.4	3.0	3.7	2.5	2.3	3.0

2 項目別の個別評価

(1) 施設の運営に関すること

施設の運営に関して「利用率・稼働率」、「職員体制」、「職員教育」、「緊急時の対応」、「区との連絡調整」、「適正な労働環境の確保」、「その他施設の運営」の観点から評価を行いました。

【評価（2.8点）】

- ・常設展及び特別展が好調により、利用者数が前年度と比較して4.7%増と大幅な増となり、順調に運営されたことがうかがえる。
- ・財団独自の学芸スキル研鑽クラスの設置、漱石山房記念館職員との相互研修、保存担当学芸員研修、他館視察による回想法講座への参加など職員研修が多様な内容で充実しており高く評価できる。
- ・区と月に1回、定例の月次報告会を実施し、時宜に応じて事務連絡や協議等、適切に行われている。区所管課職員を講師とした区業務理解のための新任者研修を実施するなど、区との連携体制を強化する取組を実施し、安定した運営を行うことに努めている。
- ・ハラスメント研修の実施や、産業医による「何でも相談室」を開催（月1回）するなど、適正な労働環境を確保するための取組が行われている。
- ・協定書及び仕様書に定める施設の運営に関して、必要な措置が講じられている。

以上、施設の運営に関して、適正に運営されていると評価する。

(2) 利用・サービスに関すること

施設の利用・サービスに関して「利用手続」、「サービス水準の確保」、「利用者サービスの向上」、「利用者対応・接遇」、「利用者要望の把握・対応」、「個人情報等の適切な対応」の観点から評価を行いました。

【評価（3.1点）】

- ・条例や規則、運用基準に基づき、利用手続きを適正かつ公正に行っている。
- ・協定書及び仕様書に沿った水準で事業計画を立て、計画どおり業務を実施しており、適切に業務・事業が行われている。
- ・常設展示のポケット学芸員アプリを計画から前倒しして運用開始したことや財団ウェブサイト全体への翻訳サービス導入等ユニバーサルデザインへの取組みがなされており評価できる。また国際博物館の日事業への参加等時宜を捉えたイベントに積極的に参加しており評価できる。
- ・メンバーズ倶楽部会員に向けた意見聴取の実施やアンケートの要望より、譜面台、展示室内チェア、トイレベビーチェア設置などを行ったとのこと等利用者からの要望を踏まえた改善・取組みがなされている。
- ・利用者アンケートでは、接遇に関して満足以上が98.4%と評価しており、サービス水準の高さが確認できる。

- ・雇用形態にかかわらず職員の接遇向上は重要である。また、リピーターのロイヤリティ向上策の取組も大切である。こうした視点からの実践があり、事業計画等に求められる水準を超えて良好である。

以上、利用・サービスに関して、適切に行われていると評価する。

(3) 施設・設備の管理に関すること

施設・設備の管理に関して「施設・設備管理」、「施設修繕・備品管理」、「省エネルギー・省資源」の観点から評価を行いました。

【評価 (2.9 点)】

- ・施設設備定期点検について計画どおりの実施・適切な管理がされている。また、予防保全の観点からも計画的に修繕・更新が行われている。今後も経年変化を考慮しながら計画的な整備を行うことが望まれる。
- ・講堂のプロジェクトの更新については、利用者意見を踏まえて実施され区への貢献にもつながったことを評価する。(なお、設置したプロジェクトは協議のうえ新宿区に寄贈)。
- ・省エネルギー・省資源の取組について、ゼロカーボン電力の使用など、区の環境施策に則り継続的に取り組んでいる。

以上、施設・設備の管理は、適正に行われていると評価する。

(4) 管理運営経費に関すること

管理運営経費に関して「適正な会計」、「目標の達成」、「経費節減、収入・利益率確保の努力」の観点から評価を行いました。

【評価 (2.9 点)】

- ・公益法人会計に準拠した会計システムによる適正な事務処理が行われている。本業務収入は目標比 149.4%と目標を大きく超え、また提案事業収入は目標比 107.5%となり、各種展示会や事業・イベント等の取組の成果が伺える。
- ・財団自主事業であるミュージアムショップについて収益を確保し、一部を区に還元したことなど評価できる。

以上、管理運営経費は、適正に執行していると評価する。

(5) 事業に関すること

新宿歴史博物館の事業運営に関して「事業実施」、「効果的・効率的な視点」の観点から評価を行いました。

【評価 (3.2 点)】

- ・漱石山房記念館や文化センターとの連携など財団のノウハウや組織力を活かした充実した事業展開を行っており、効果的・効率的な事業運営がなされている。
- ・新宿駅の歴史を紐解き未来の展望と併せて紹介する特別展、職員作成による動画の

youtube で公開、X での展示会・講座情報の発信など情報発信体制を強化し、利用者増や収入増といった成果につなげたことは評価できる。

以上、事業に関して、適切に実施していると評価する。

3 全体評価

令和 7 年度の指定管理者の管理業務について、各評価委員の評価を踏まえ、総合評価は「3.0」となりました。また、全体評価は、評価基準（2.5 以上 3.5 未満→良）に照らし、「3：良」と評価しました。

[総合所見]

事業計画に基づいた事業の実施や、サービス向上に努め、目標を上回る利用者数や利用料金収入を達成し、良好に運営されていた。また、利用者からのリクエストを踏まえた設備の更新等を行っており、利用者目線に立った運営がなされている。

今後については、既存の事業と新たな試みへの挑戦を組み合わせ、新宿がもつ魅力や文化的価値を特に若い世代に知ってもらい、新たな新宿の一面を伝えていけるような事業展開、継続的な活性化に向けた取り組みを行うことを期待する。

◎評価資料（指定管理者提出資料）

事業評価を行うために使用した資料は次のとおりです。

- 1 利用率・稼働率・・・・・・・・・・資料 1
- 2 利用・サービスに関すること・・・・・・・・・・資料 2
- 3 省エネルギー・省資源・・・・・・・・・・資料 3
- 4 管理運営経費に関すること・・・・・・・・・・資料 4
- 5 事業に関すること・・・・・・・・・・資料 5

なお、評価にあたっては、上記資料の他に、「職員体制」、「職員教育（研修一覧）」、「緊急時の対応（緊急連絡体制）」、「適正な労働環境の確保」、「個人情報等の適切な対応」、「施設設備定期点検等実施状況」、「施設修繕実績報告」等、指定管理者から提出のあった資料に基づき、各項目の評価を行いました。

1. 利用率・稼働率

利用者数実績は、目標（70,000 人）に対し 89,230 人（目標比 127.5%）となった。
常設展入館者は前年度を上回った。特別展では新宿駅開業 140 年を記念して「*Shinjuku grand terminal*」を開催し、歴史を紐解きながら、変貌する未来の新宿駅の姿を紹介、関連講座等を実施した。フリースペースでのパネル展示を行うなど、施設の有効活用を行ったほか、SNS での発信強化等により、来館者数は大幅な増となった。

① 施設別利用者数及び評価指標の実績報告

施設名	利用者数				
	計画(人)	実績(人)	達成率	前年度(人)	前年度比
常設展示室	20,000	25,535	127.7%	22,065	115.7%
企画展示室	13,000	20,834	160.3%	18,383	113.3%
閲覧室	1,300	1,159	89.2%	1,281	90.5%
講堂	11,300	12,948	114.6%	12,240	105.8%
ギャラリースペース	17,400	22,782	130.9%	22,403	101.7%
その他*	7,000	5,972	85.3%	5,905	101.1%
合計	70,000	89,230	127.5%	82,277	104.7%

*：スタンプラリー、施設開放イベント、夏休み子どもイベント、お茶会参加者、団体との連携事業参加者等

② 利用者数

	今年度実績	前年度実績	前年度比
利用者数	89,230	82,277	108.5%
開館日数	329	332	99.1%
1 日平均利用者数	271.2	247.8	109.4%
展示会回数*	5 回	4 回	125.0%

*：過年度/次年度跨ぎ開催分含む

(内訳)

		今年度実績	前年度実績	前年度比
有料	常設展	16,907 人	14,558 人	116.1%
	特別展	4,537 人	3,306 人	137.2%
	有料計	21,444 人	17,864 人	120.0%
無料	常設展（免除）	5,189 人	4,565 人	113.7%
	特別展（免除）	1,086 人	995 人	109.1%
	メンバーズ倶楽部 (博物館友の会)	684 人	600 人	114.0%
	招待者	1,048 人	887 人	118.2%

	視察・取材	864 人	710 人	121.7%
	ぐるっとパス	2,507 人	2,091 人	119.9%
	所蔵資料展	13,547 人	12,736 人	105.9%
	ギャラリートーク (学芸員による展示解説)	393 人	371 人	105.9%
	閲覧室	1,159 人	1,281 人	90.5%
	講堂	12,948 人	12,240 人	105.8%
	サンクンガーデン	2,447 人	2,149 人	113.9%
	ギャラリースペース	8,533 人	6,338 人	134.6%
	ホワイエ・イベント	14,249 人	13,916 人	102.4%
	その他	3,132 人	5,534 人	56.6%
	無料計	67,786 人	64,413 人	105.2%

< 特別展 >

「Shinjuku Grand terminal」

10 月 12 日（日）～12 月 14 日（日）

観覧者数 7,287 人

< 所蔵資料展（4 展示会） >

「写真と絵画でみる昭和 30 年代の東京風景」

令和 7 年 1 月 11 日(土)～4 月 13 日(日)

観覧者数 909 人（令和 7 年度分）

「新宿の郷土史家たち」

4 月 26 日(土)～6 月 29 日(日)

観覧者数 3,151 人

「しんじゅく れきし どうぶつえん！」

7 月 12 日(土)～9 月 21 日(日)

観覧者数 4,736 人

「新宿の遺跡 2026」

令和 8 年 1 月 17 日(土)～4 月 12 日(日)

観覧者数 4,751 人（令和 7 年度分）

< キャンペーンイベント「転生したら芸術家たちが暮らす新宿だった件」（新宿区主催） >

令和 8 年 2 月 3 日（火）～3 月 15 日（日）参加者数 715 人（ステッカー配布枚数）

2. 利用・サービスに関すること

(1) 利用手続

新宿区立新宿歴史博物館条例第 25 条の範囲内で、展示資料の観覧に係る利用料金及び講堂等の利用に係る利用料金を設定した。また、展示会では、常設展と企画展のセット券の販売、また講堂については利用時間の区分を分け、利用者が利用しやすくした。

① 利用料金（展示資料の観覧に係る利用料金）

区分		1 人 1 回当たり	
		一般	小学生・中学生
常設展	個 人	300 円	100 円
	団体（20 人以上）	150 円	50 円
特別展 ^{*1}	個 人	300 円	無料
	団体（20 人以上）	150 円	無料
セット券 ^{*1}	一般	500 円	—
	割引 ^{*2}	300 円	—

*1：令和 7 年度特別展の場合。セット券は常設展・特別展のセット。金額は開催ごとに設定。

*2：図書館・書店等で配布する葉による割引。

② 利用料金（講堂等の利用に係る料金）

区分	午前 9:30-12:30	午後 13:00-17:00	全日 9:30-17:00
平日料金（月～金）	2,000 円	4,000 円	6,000 円
休日料金（土・日・祝）	3,000 円	6,000 円	9,000 円

※ マイク、音響設備、椅子は無料。

※ 附帯設備（映写設備等）・・・ 1 区分 1,000 円、全日 2,000 円

(2) サービス水準の確保

基本協定書及び仕様書の内容に沿って業務・事業を行った。

(3) 利用者サービスの向上

利用者が常に安全で快適な状態で新宿歴史博物館の施設や設備を利用できるように、計画的に維持管理や保守点検を行い、施設を保持した。

また、利用者サービスの向上に向けて、指定管理事業（提案事業）や、その他以下の業務を実施した。

① ギャラリートーク（学芸員による展示解説）

※11 月 22 日（土）実施分は手話通訳も併用

- ② メンバース倶楽部（財団が管理する博物館・記念館の観覧料が無料になる友の会）の運営
【会員数】707 人（令和 7 年度末）
＜会員向け事業＞
- ・メンバース倶楽部通信：年 6 回発行
 - ・歴博オリジナルグッズの提供
 - ・メンバース倶楽部限定事業の実施：「杉並文化探訪 ～荻窪三庭園をめぐる～」
（令和 8 年 2 月 26 日（木））／参加者数 28 人
- ③ 子ども・ファミリー向けの来館誘致
夏休み子どもイベント（勾玉づくり、れきはく探検、ワークショップ、絵日記コンテスト等）を実施した。
- ④ 共生社会に向けた対応
常設展示でスマートフォン展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」を導入（計画より前倒しで実施）し、常設展示で配布している解説シートの内容について、多言語対応を開始した。
- ⑤ 閲覧室・講堂等を活用した学習活動の促進

⑥ 常設展示室特設コーナー、れきはくギャラリーの展示替え

	常設展示室特設コーナー	れきはくギャラリー（1F）	ホワイエ（B1F）
4月		野田宇太郎写真展 （～4/13）	
5月	生誕100年三島由紀夫 （4/1～6/30）	新宿区の文化財 （4/26～7/10）	
6月			
7月		平和展 （7/12～7/29）	岩田ガラス （4/1～3/31）
8月	昭和100年 （7/1～9/30）	所蔵資料展関連 （7/30～8/30）	
9月		絵日記コンテスト 作品展示 （8/31～9/15）	
10月	小泉八雲と新宿 （10/1～12/25）	新宿駅開業140周年 （9/22～12/21）	
11月			
12月			
1月		推し遺跡 （1/4～4/30）	新宿区 キャンペーンイベント （2/3～3/15）
2月	山本豊市 （1/4～3/31）		
3月			

令和7年度は、特別展や所蔵資料展に関連した展示のほか、新宿区の登録文化財等の紹介パネル展示や、区主催キャンペーンイベントへの協力等を行った。

⑦ フリースペース（中庭）の有効活用

- ・10月19日（日）お茶会／協力・藤の会（江戸千家流） 延べ参加者数 60人
- ・11月29日（日）出張 CAFE SOSEKI／協力・MONI 合同会社 延べ参加者数 92人

⑧ 施設開放イベントの実施

・4月12日（土）レガスマつり（はくぶつかんまつり）財団指定管理施設で実施
延べ参加者数 1,168 人

<プログラム>

常設展示無料開放／所蔵資料展／ギャラリートーク／れきはくクイズラリー／花苗無料配布
／勾玉をつくろう！／くずし字キーホルダーづくり／れきはく講談／甲冑体験／刊行物 2 割引
き

⑨ ばる新宿加入者への観覧料の割引

⑩ ぐるっとパスへの加入による観覧料の割引

⑪ 自動販売機の設置

指定管理自主事業として実施した。

⑫ 電子決済サービス導入準備

キャッシュレス支払いに関する利用者の要望に対応するため、令和 8 年度の導入に向けて準備を進め、機器選定を行った。

⑬ 国際博物館の日

国際博物館の日（5 月 18 日）記念事業に参加し、展示観覧者に記念品を提供した。

(4) 利用者対応・接遇

利用者への良好な接客対応を行うために、月例ミーティングや接遇マニュアル等を通して利用者対応の質維持・向上に努めた。

また、接遇研修（財団全体研修）に博物館パート職員が参加し、利用者への良好な接客対応に必要な職員モラルについての研修と接遇マニュアルの再確認をした。

利用者アンケートでは展示に対する好印象の回答が多数みられ、総合的な利用者満足度平均は「とても満足」「満足」で 98.4%（有効回答）と高評価だった。

(5) 利用者要望の把握・対応

① 利用者アンケートの実施（通年）

② 窓口等で寄せられる利用者のニーズ等の収集（通年）

③ 【新規】メンバーズクラブ会員向けアンケートの実施（令和 8 年 2 月 14 日～3 月 31 日）

収集した要望やアンケート集計結果等は、課内で情報を共有するとともに、速やかに業務改善を行った。また、アンケートで寄せられた意見をもとに、プロジェクター、譜面台、展示室内チェアの購入・設置を行った。

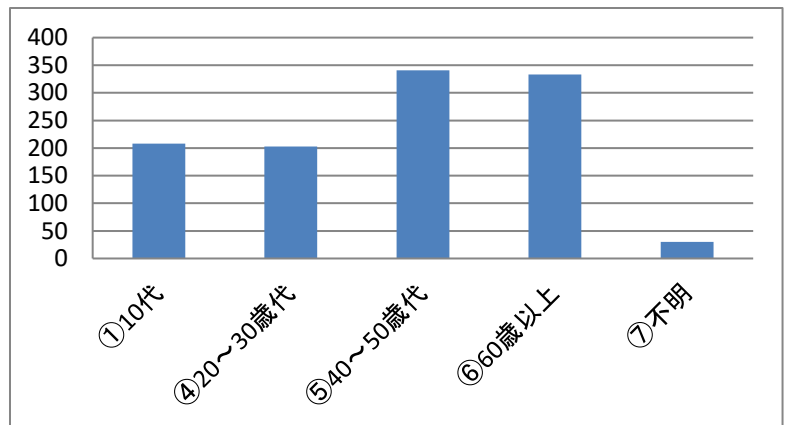
アンケート集計結果

回答数

1,115 件

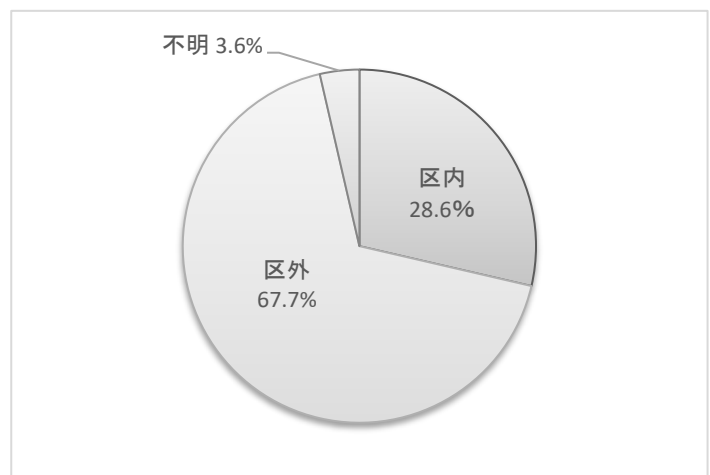
ア 年齢分布

	人数	総計	割合
①10代	208	1,115	18.6%
④20～30歳代	203		18.2%
⑤40～50歳代	341		30.5%
⑥60歳以上	333		29.8%
⑦不明	30		2.7%



イ 住所

	人数	総計	割合
新宿区内	319	1,115	28.6%
新宿区外	755		67.7%
不明	41		3.6%



ウ 当館を知った媒体

	人数	総計	割合
①Oh!レガス	97	1,117	8.6%
②メンバーズ	26		2.3%
③博物館HP	174		15.5%
④財団HP	25		2.2%
⑤財団X	12		1.0%
⑥財団LINE	4		0.3%
⑦財団YouTube	6		0.5%
⑧広報しんじゅく	37		3.3%

※重複回答あり

	人数	総計	割合
⑨新宿区HP	42	1,117	3.7%
⑩新聞	9		0.8%
⑪プレスリリース	4		0.3%
⑫チラシ・ポスター	160		14.3%
⑬雑誌	8		0.7%
⑭家族・友人	130		11.6%
⑮その他	251		22.4%
無回答	136		12.1%

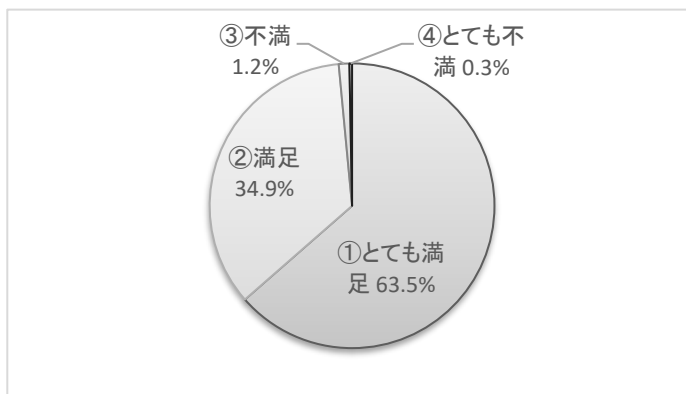
※その他

漱石山房記念館、ぐるっとパス、学校、テレビ、グーグルマップ、駅からハイキング、図書館、町会、他博物館、区キャンペーンイベント、文化財ウィーク、職場等

エ 満足度

	人数	総計	割合
①とても満足	708	1,115	63.5%
②満足	390		34.9%
③不満	14		1.2%
④とても不満	3		0.3%

※有効回答から割合を算出



講堂利用アンケート集計結果

回答数

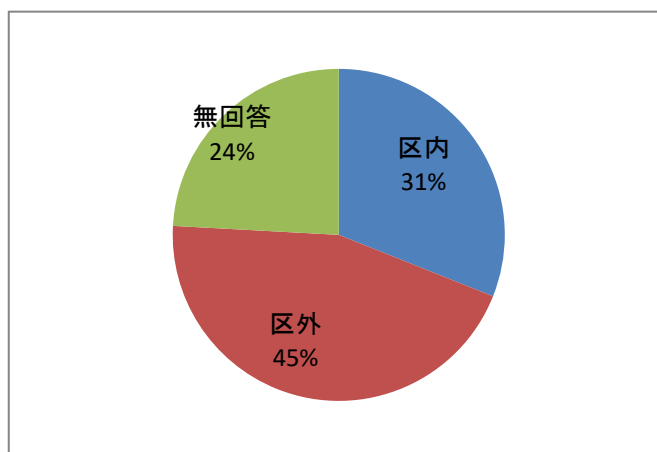
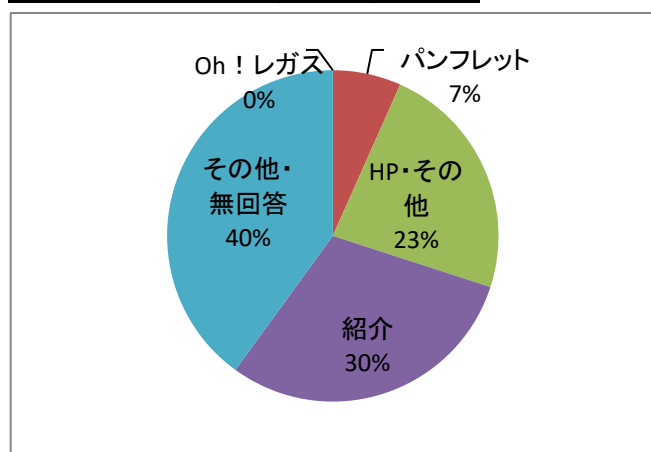
29 件

ア 当館を知った媒体

	総計	割合
Oh!レガス	0	0%
パンフレット	2	7%
HP・その他	7	24%
紹介	9	31%
その他・無回答	12	41%

イ 利用団体所在地について

	総計	割合
区内	9	35%
区外	13	41%
無回答	7	24%



ウ 当施設に対しての満足度をお教えてください

	椅子・机		放送設備(マイク・プロジェクター等)		共用部分(トイレ・廊下等)	
満足	22	76%	20	77%	21	75%
ほぼ満足	7	24%	6	23%	7	25%
やや不満	0	0%	0	0%	0	0%
不満	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	0	—	3	—	1	—

利用者の意見・要望（抜粋）及び対応

1. 接遇・スタッフの対応について

- ▶「ボランティアが、常設展示で大きい声で喋ってうるさい。静かにしてほしい。」
- ▶「展示室内外で大声で喋る40代くらいのカップルがいた。静かにしろと注意してほしい。」
- ▶「チケットの確認チェックがいやらしい。」
- ▶「ボランティアスタッフの方の知識が豊富で、とても良かったです。（同意見：4件）」
- ▶「説明の声がうるさいと指摘したら、すぐに対応してくれた。ありがとうございました。」
- ▶「丁寧に接してくださいました。ありがとうございます。」
- ▶「Staffs are nice.（スタッフの方々が親切です。）」

【対 応】：静かな鑑賞環境の維持（声量・私語への注意）を求める意見がある一方、スタッフ・ボランティアの親切さや知識を評価する声も多くみられました。意見や要望はボランティア全体会で情報共有し、接遇研修を実施。内容を受付スタッフにも共有し運営に反映しました。

2. 施設（設備・環境）について

- ▶「展示の間に椅子がほしい。」
- ▶「もう少し椅子が有るとありがたい。」
- ▶「休憩場がほしい。」
- ▶「館内に座る席があり大人は助かりました」
- ▶「地下トイレ、一個しかなくとても不満です。」
- ▶「もっとトイレの数があると嬉しい。」
- ▶「室内の照明が暗くて、キャプションがよく見えなかった。」
- ▶「館内ではありませんが、博物館の場所が分かりにくかったです。」

【対 応】：常設展示室内に休憩できる椅子を購入し、設置しました。

3. 展示について

- ▶「分かり易く、充実している。とても面白い。（同意見：2件）」
- ▶「展示品が充実している。とても良かった。」
- ▶「ガラスケース内の文字をもう少し大きく。」
- ▶「地図が遠くて、ちょっと見えない。（同意意見：4件）」
- ▶「地図や商店街の明細図の文字が小さいので、図録があると嬉しいです。」
- ▶「写真を撮れるところが、もっと多いと嬉しい。（同意見：5件）」
- ▶「撮影NGかOKか分からない箇所が多く、撮影がなかなかできませんでした。」
- ▶「展示。暗くしなければならないことは分かりますが、細かいもの等、見づらくて残念。」
- ▶「印刷物の展示品がガラスの仕切りから遠くにあり、文字が見えなかったのが残念です。上からのぞく形の展示をしていただけるともっと文字が見えやすくて助かります。」
- ▶「図録があったら良かった。」／「図録の欲しい内容でした。」

【対 応】展示内容への高評価がある一方、文字サイズ・照明・印刷物や地図の見やすさ、撮影ルールの明確化や撮影可能な場所のわかりやすい表記を心掛けていきます。また、図録の作成について今後も継続して区と相談し、対応していきます。

4. 多言語・アクセシビリティについて

- ▶「If you could do more english translations or put more ふりがな for those who can not read kanji...
（英語の翻訳をもっと増やすか、ふりがなをもっと入れてほしい）」
- ▶「A little more english. (もう少し英語を。)」
- ▶「The exhibition was very interesting. Thank you for providing English translations on the captions.
（英語訳のおかげで理解しやすかった）」
- ▶「Thank you for the english and incredibly helpful staff（英語と親切なスタッフありがとう）」
- ▶「手話通訳の取組を評価しつつ、見学マナー（通訳者と見学者の間を通る等）への課題指摘。」

【対 応】 ポケット学芸員による英語解説も導入し、対応しましたが、キャプション・資料・館内表示の拡充要望が複数ありました。手話通訳を含むアクセシビリティは継続しつつ、利用マナーの周知も行っています。

5. 広報・周知／来館導線について

- ▶「素晴らしい博物館と思います。もっと多くの方に来館してもらえよう、広報するのが良いと思います。（同意見：1件）」
- ▶「貴館の存在は以前より知っていましたが、...もっとPRしてください。」
- ▶「より多くの見学者がいるといいのでPRをして下さい。」
- ▶「もっと宣伝したらどうか？」
- ▶「館内ではありませんが、博物館の場所が分かりにくかったです。」

【対 応】 展示内容の評価と併せて、来館者増に向けた広報強化を求める声が複数ありました。今年度は動画の配信やSNSのこまめな更新を行い、様々な層への情報発信を心掛けました。

3. 省エネルギー・省資源

- ① バックヤード照明の間引き、不要照明の消灯、適正な空調温度の管理等の省エネルギー活動を行った。
- ② 積極的な裏紙使用や、データによる資料の共有、出力前のデータチェックの徹底等により用紙の使用を抑制し、省資源活動を行った。
- ③ 省エネルギー・省資源活動の目標については、区の環境マネジメント方針に則り進捗管理を行った。
- ④ 新宿区の環境施策を踏まえ、施設内の電気について、ゼロカーボン電力（調整後排出係数 0.000kg-CO₂/kWh）を使用した。
- ⑤ 区の「みどりのカーテン」普及啓発事業に参加し、「ゼロカーボンシティ新宿」の実現に向けた取り組みを行った。

項目	今年度	前年度	前年比	説明
電気（kWh）	452,679	475,166	95.3%	
ガス（m ³ ）	34,099	28,233	120.8%	猛暑等への対応のため、冷温水発生機稼働台数を調整した事による増
水道（m ³ ）	1,959	1,653	118.5%	同上
廃棄物（kg）	3,940	4,410	89.3%	
その他				近隣への移動は自転車を利用している

4. 管理運営経費に関すること

(1) 適正な会計

公益法人会計に準拠した会計システムによる事務処理や税理士、監査法人による外部チェックを実施した。

(2) 目標の達成

	目標	実績	達成率
① 本業務収入 [観覧料等]	4,884,000 円	7,295,931 円	149.4%
② 本業務（提案事業）収入 [メンバーズ倶楽部会費等]	855,000 円	919,500 円	107.5%
③ 指定管理自主事業収入 [自動販売機手数料]	280,000 円	223,531 円	79.8%

(3) 経費節減、収入・利益率確保の努力

① 財団スケールメリットの最大活用

指定管理者として当財団が施設管理を行っている各施設で共通する保守等の業務を一元化して委託し、スケールメリットによる費用節減を図った。また、広報紙や施設ガイド、ホームページ等の広報活動については、財団全体で包括的・効率的に行った。

② 財団が管理する歴史文化施設との協働運営

新宿歴史博物館、林芙美子記念館、佐伯祐三アトリエ記念館、中村彝アトリエ記念館の4施設を一括して管理運営することにより、人件費や清掃業務経費を抑制した。また、漱石山房記念館との連携により事務の効率化を図った。

③ 省エネルギーの推進

3のとおり、省エネルギー活動を継続して実施し、経費の節減を図った。

④ プロセス最適化による経費削減

長年のノウハウを活かした計画的な管理・修繕業務による施設寿命の長寿化、複数見積の取得や入札などにより、経費削減に取り組んだ。

⑤ PR 活動の推進

広報紙（月2回、2025年4/5号～2026年3/20号（24回）各80,000部発行）、駅広告（都営新宿線曙橋駅、東京メトロ丸ノ内線四谷三丁目駅、JR 四ツ谷駅）、施設ガイド（年1回発行）、メンバーズ倶楽部会報（年6回）等により施設をPRした。

また、財団ウェブサイト上での多言語対応として、多言語翻訳サービス(翻訳言語数 121 言語(※ PDF データは 4 言語(英・中(簡・繁)・韓)))を活用し、周知の強化に努めた。

ウェブサイト上での企画展示紹介動画等の配信や X の日々更新、新宿コズミックスポーツセンターデジタルサイネージでの事業紹介など、積極的な周知活動を行った。

⑥ 地域人材との協働

博物館ボランティア制度により、地域の有用な人材を最大限に活かした協働・参画型の博物館運営を推進した。

⑦ 展示会セット券の販売による収入の確保

特別展や協働企画展等の企画展示開催時は、常設展とのセット券も販売し、利用者がより利用しやすい料金を設定した。

⑧ 本業務（提案事業）での収入確保

中庭活用事業、メンバーズ倶楽部の会費等により収入を確保した。

⑨ 指定管理自主事業での収入の確保

自動販売機の運営による利益を施設管理費に充当し、指定管理料を抑制した。

⑩ 施設を活用した事業展開

施設を活用した事業を実施することで施設の魅力を内外に広く発信し、施設の利用拡大を図った。

⑪ 利益の一部還元

財団自主事業であるミュージアムショップについて、収支実績が確定した後、収支差額の一部（収支差額の 20%(212,725 円)を区に還元した。

⑫ その他

エントランスホワイエガラスに、遮光・遮熱性能のある透明シートを貼付し、空調効率向上を図った。

収支実績

(単位：千円)

収 入		
項 目	計 画	実 績
指定管理本業務	4,884	7,296
指定管理本業務 (提案事業)	855	920
指定管理協定による 収入	114,772	114,772
指定管理自主事業	280	224
収入合計	120,791	123,211

支 出		
項 目	計 画	実 績
指定管理本業務 ※パート人件費含む	107,348	101,125
指定管理本業務 (提案事業)	1,437	1,117
指定管理自主事業	83	46
人件費 ※パート人件費含まない	11,923	12,000
支出合計	120,791	114,288

※支出実績は千円未満四捨五入のため、内訳の総計が合計に合わない場合がある。

(1) 収入実績

単位：円

項目	計画	実績	計画との差異	(参考)前年度実績
①指定管理本業務収入	4,884,000	7,295,931	2,411,931	5,960,030
観覧料収入	3,751,000	6,021,750	2,270,750	4,801,200
講堂利用収入	805,000	609,000	△ 196,000	782,000
ぐるっとパス販売等収入	300,000	637,121	337,121	348,770
閲覧室コピー機管理手数料	28,000	28,060	60	28,060
②指定管理本業務(提案事業)収入	855,000	919,500	64,500	955,000
メンバーズ倶楽部会費収入	783,000	829,500	46,500	876,500
中庭活用事業参加料収入	45,000	76,000	31,000	64,000
メンバーズ倶楽部ツアー	27,000	14,000	△ 13,000	14,500
③指定管理協定による収入	114,772,000	114,772,000	0	107,967,000
区指定管理収入	114,772,000	114,772,000	0	107,967,000
④本業務計 (①+②+③)	120,511,000	122,987,431	2,476,431	114,882,030
⑤指定管理自主事業収入	280,000	223,531	△ 56,469	228,294
自動販売機販売手数料	280,000	223,531	△ 56,469	228,294
収入合計 (④+⑤)	120,791,000	123,210,962	2,419,962	115,110,324

(2) 支出実績

総括表

単位：円

項目	計画	実績	計画との差異	(参考)前年度実績	備考
①指定管理本業務	107,348,000	101,125,178	△ 6,222,822	92,807,606	パート人件費含む
②指定管理本業務(提案事業)	1,437,000	1,117,355	△ 319,645	1,224,889	
③本業務計 (①+②)	108,785,000	102,242,533	△ 6,542,467	94,032,495	
④指定管理自主事業	83,000	45,774	△ 37,226	48,658	
支出合計 (③+④)	108,868,000	102,288,307	△ 6,579,693	94,081,153	
人件費	11,923,000	11,999,960	76,960	11,487,691	パート人件費含まない
繰入金支出	0	0	0	0	
支出総合計	120,791,000	114,288,267	△ 6,502,733	105,568,844	

①指定管理本業務

(i) パート人件費

単位：円

項目	計画	実績	計画との差異	(参考)前年度実績	備考
パート人件費支出	15,196,000	14,541,504	△ 654,496	12,914,905	
パート人件費	15,196,000	14,541,504	△ 654,496	12,914,905	
合計	15,196,000	14,541,504	△ 654,496	12,914,905	

(ii) 一般管理費項目詳細

単位：円

項目	計画	実績	計画との差異	実績	備考
一般事務用品等の購入	2,164,000	2,144,587	△ 19,413	2,737,298	
消耗品費	2,164,000	2,144,587	△ 19,413	2,737,298	
租税公課費の支出	2,795,000	2,235,508	△ 559,492	2,153,555	
租税公課	2,795,000	2,235,508	△ 559,492	2,153,555	
その他一般管理費支出	715,000	692,324	△ 22,676	673,219	
通信運搬費	662,000	639,324	△ 22,676	620,219	
旅費交通費	53,000	53,000	0	53,000	
合計	5,674,000	5,072,419	△ 601,581	5,564,072	

(iii) 施設・設備維持管理費項目詳細

項目	計画	実績	計画との差異	実績	備考
委託費支出	60,316,000	59,959,212	△ 356,788	51,747,857	
委託費	60,316,000	59,959,212	△ 356,788	51,747,857	
修繕費支出	4,481,000	3,863,090	△ 617,910	4,404,278	
修繕費	4,481,000	3,863,090	△ 617,910	4,404,278	
その他施設・設備維持管理費支出	20,643,000	16,667,461	△ 3,975,539	17,048,054	
光熱水費	19,476,000	15,501,945	△ 3,974,055	15,997,622	残額内訳 電気 3,835,930 ガス 137,301 水道 824
使用料及び賃借料	145,000	144,345	△ 655	72,105	
リース料	1,022,000	1,021,171	△ 829	978,327	
合計	85,440,000	80,489,763	△ 4,950,237	73,200,189	

(iv) 運営費項目詳細

項目	計画	実績	計画との差異	実績	備考
印刷製本費支出	352,000	347,675	△ 4,325	419,716	
印刷製本費	352,000	347,675	△ 4,325	419,716	
その他運営費支出	686,000	673,817	△ 12,183	708,724	
諸謝金	172,000	172,000	0	172,000	
保険料	47,000	31,738	△ 15,262	46,277	
支払負担金	200,000	200,000	0	200,000	
支払手数料	98,000	101,270	3,270	78,794	流用にて対応
支払利息	169,000	168,809	△ 191	211,653	
合計	1,038,000	1,021,492	△ 16,508	1,128,440	

②指定管理本業務（提案事業）

単位：円

項目	計画	実績	計画との差異	(参考)前年度実績	備考
一般事務用品等の購入	718,000	610,119	△ 107,881	537,525	
消耗品費	718,000	610,119	△ 107,881	537,525	
租税公課費の支出	0	0	0	0	
租税公課	0	0	0	0	
その他一般管理費支出	622,000	495,826	△ 126,174	460,540	
通信運搬費	622,000	495,826	△ 126,174	459,000	
旅費交通費	0	0	0	1,540	
委託費支出	0	0	0	0	
委託費	0	0	0	0	
修繕費支出	0	0	0	0	
修繕費	0	0	0	0	
その他施設・設備維持管理費支出	64,000	9,100	△ 54,900	6,240	
使用料及び賃借料	64,000	9,100	△ 54,900	6,240	
印刷製本費支出	0	0	0	219,450	
印刷製本費	0	0	0	219,450	
その他運営費支出	33,000	2,310	△ 30,690	2,674	
諸謝金	29,000	0	△ 29,000	0	
保険料	4,000	2,310	△ 1,690	2,674	
合計	1,437,000	1,117,355	△ 319,645	1,226,429	

③指定管理本業務計①+②	108,785,000	102,242,533	△ 6,542,467	94,034,035	
--------------	-------------	-------------	-------------	------------	--

④指定管理自主事業費項目詳細

項目	計画	実績	計画との差異	(参考)前年度実績	備考
自動販売機等運営費	83,000	45,774	△ 37,226	48,658	
光熱水費	83,000	45,774	△ 37,226	48,658	
合計	83,000	45,774	△ 37,226	48,658	

自主事業（利益配分を実績確定後に区に配分する分）※ ミュージアムショップは財団自主事業として運営

項目	収入	支出	収支差額	区還元額
ミュージアムショップ実績	2,743,036	1,679,411	1,063,625	212,725

※新宿歴史博物館分、漱石山房記念館分の収支を合算しプラスになったため、新宿歴史博物館分の収支差額の2割（212,725円）を区に還元した。

5. 事業に関すること

(1) 事業実施

① 本業務及び本業務（提案事業）

事業名	評価指標	計画	実績
メンバーズ倶楽部 (博物館友の会)	登録者数	720 人	707 人
常設展特設コーナー展示替え	実施回数	4 回	4 回
ガーデニング倶楽部 (ガーデニングボランティア)	活動実績	植替え、水やり	植替え等 4 回
中庭活用事業（お茶会）	参加者数	50 人/回	60 人
中庭活用事業 (出張 CAFÉ SOSEKI)	—	—	92 人
施設開放イベント (レガスマツリ「はくぶつかんまつり」)	来場者数	1,000 人	延べ 1,168 人
ギャラリースペース等の活用	ギャラリー利用者数	17,400 人	22,782 人

② 指定管理自主事業

事業名	評価指標	計画	実績
自動販売機の運営	—	197,000 円	177,757 円

(2) 効果的・効率的な視点

新宿歴史博物館の設置目的について、新宿区立新宿歴史博物館条例第 1 条では、「区民の教養の向上及び文化の発展に寄与するため、新宿区立新宿歴史博物館を設置する」と規定している。

この設置目的を達成するため、指定管理事業である新宿歴史博物館の管理運営、財団の自主財源で実施する自主事業、新宿区より請け負っている補助事業等を幅広く展開、連携し、一体的に実施することで、利用者の増加と効果的な運営を実現した。

ICT を活用した取り組みとしてユーチューブを活用した動画配信を行っている（展示会解説 4 本、昔の道具紹介 1 本）。所蔵資料を活用した「昔の道具を見てみよう」は、区内学校での活用を促す情報発信にも努めており、学校教育に役立てられている。

また、区主催イベントの現場において、ミュージアムグッズの販売ブースを設置したほか、友好提携都市であるドイツベルリン市ミッテ区の青少年訪問に際して歴史博物館の見学を受け入れ、新宿の魅力・歴史を紹介するなど区の施策にも協力している。

さらに、民間企業や区の研修先として新任者研修を受け入れ、常設展示室を活用して新宿の歴史について解説するなど、学習機会のサポートにも多く対応している。

事業実績（指定管理事業以外）

定款事業区分	事業名	実績
地域の歴史の記録 保存及び普及啓発	郷土資料の調査収集・活用	（１）調査収集・管理 ①寄贈受入 28件 897点 ②資料点検3回、収蔵庫燻蒸 ③資料修復（資料修復2点、図書修理15点） ④レプリカ作成9点 （２）資料の活用 ①写真データベース入力1,254点 ②写真データベースHP掲載写真追加 70点 ③資料データベース入力869点 ④所蔵図書資料 システム入力 388点 ⑤写真資料貸出222件945点 ⑥資料閲覧12件104点 ⑦資料貸出 7件62点
	展示会の開催	（１）特別展 新宿駅開業140周年記念 Shinjuku grand terminal 観覧者数7,287人 ギャラリートーク118人 JR東日本コラボイベント新宿駅を学ぼう （1回/11/8）5組：10人 制服撮影会（3回）延べ人数：100人内訳：12/6JR 東日本38人 12/7京王電鉄27人 12/14小田急電鉄35人 物販及びワークショップ（1回） （２）協働企画展・所蔵資料展 ①所蔵資料展「写真と絵画で見る昭和30年代の東京風景」 観覧者数 909人（令和7年度分）ギャラリートーク20人（うちレガスマつり 6人） ②所蔵資料展「新宿の郷土史家たち」 観覧者数3,151人 ギャラリートーク101人 ③所蔵資料展「しんじゅく れきし どうぶつえん」 観覧者数4,736人 ギャラリートーク77人 ④所蔵資料展「新宿の遺跡2026」 観覧者数4,751人 ギャラリートーク102人（令和7年度分）
	文化財等の保存・公開	（１）国史跡「林氏墓地」の公開 ①現地公開 （3日） ①11/1・78人②11/2・64人③11/3・70人 延べ212人 ②林氏墓地樹木の剪定（1回）、除草（2回） ③林氏墓地史跡内墓石現状調査（1回） （２）高田馬場流鏑馬の公開 （1回）延べ3,500人 （３）ミニ博物館の支援 パンフレットの印刷・増刷 「染の里おちあい」「熊野神社」「目白学園遺跡」リーフレット各10,000部 （４）伝統芸能・民俗芸能の継承 ①民俗芸能の集い 未実施（隔年実施のため7年度なし） ②講談（2回） 参加者数 4月81人 8月74人 ③投扇興（1回） 参加者数 39人

地域の歴史の記録 保存及び普及啓発	講座・講演会の開催	(1) 古文書講座 初級（全5回）延べ参加者数276人 中級（全5回）延べ参加者数209人 (2) 歴史講座（全3回）延べ参加者数216人 （1回目11/9・70人 2回目11/16・70人 3回目11/23・76人） (3) 史跡関連講座（全2回）延べ参加者数188人 （1回目2/15・98人 2回目2/22・90人） (4) 学芸員と学ぶ歴史講座（1回）参加者数78人 (5) 所蔵資料展関連講座（2回） 1回目6/1・33人 2回目2/7・100人 (6) トピック講演会（1回）参加者数 9月32人 11月は中止 (7) 中高生歴史講座 参加者数71人 (8) 絵手紙講座（2回）参加者数 32人(1回目16人・2回目16人) (9) 生誕記念講演会 参加者数101人（講演会86人 見学会15人） (10) 協働講座・講演会（5回・NHK文化講演会） 4月97人 7月102人 10月107人 12月93人 2月96人 （2回・東京堂）7月30人 11月30人 (11) 夏休みこどもイベント（9回）延べ参加者数293人（絵日記含む）
	歴史文化探訪	歴史文化探訪(4回)・文学さんぽ（2回） ①第1回 回遊 西早稲田界隈を歩く 参加者数42人 ②第2回 江戸城・核心の本丸エリアを歩く 参加者数55人 ③第3回 特別展関連 新宿グランドターミナルとその周辺を歩く 参加者数58人 ④第4回 ソメイヨシノと新宿ゆかりの大久保つつじ誕生の駒込巣鴨を訪ねて 参加者数53人 ①漱石 第1回文学さんぽ 漱石と猫の散歩道 参加者数21人 ②漱石 第2回漱石忌夏目漱石の墓参り 参加者数20人
	学校等への教育活動支援	（1）学校への学習支援案内 ①「新宿区立新宿歴史博物館 活用の手引き」（小・中学校共通）を区内小中学校に配布 配布済 ②「新宿区立新宿歴史博物館 活用の手引き（行ってみよう！新宿歴史博物館）」を区立幼稚園・保育園に配布 配布済 ③「行ってみよう！新宿歴史博物館」（校外学習チラシ）を都内公立中学校に配布 配布済 （2）社会科見学等 37校 （3）授業支援 11校 （4）学校授業・教員支援等 2校 （5）職場体験 3校 （6）大学との連携・支援 ①視察等 4校 ②博物館実習 5校（5名）、10日間 ③インターンシップ受入 1校（3名）6日間 （7）小学生向けパンフレットの配布（小学3年生）配布済 （8）夏休みこども向けチラシの制作・配布 配布済 （9）体験用資料の追加 1件 （10）むかしの道具の紹介動画作成・配信 1件

地域の歴史の記録 保存及び普及啓発	博物館ボランティアの活動支援	(1) ボランティア登録者数 143人 (2) ボランティア活動実績 延べ活動回数2,129回 ①史跡ガイド部会 延べ195回 ②展示ガイド部会 延べ539回 ③林芙美子記念館ガイド部会 延べ488回 ④落合アトリエ記念館ガイド部会 312回 (佐伯155回、中村157回) ⑤事業サポート部会 延べ活動回数217回(うち水やり除く169回) ⑥漱石山房記念館ガイド部会 延べ活動回数378回 (3) その他運営実績 ①ボランティア全体会(1回) 参加者数68人 ②レベルアップ講座(1回) 参加者数68人 ③ボランティア全体会＋交流会(1回) 参加者数52人 ④研修バスツアー 34人 ⑤ボランティア養成講座 (隔年実施・実施なし) ⑥部会別・他施設研修 林氏墓研修20人、内部公開ガイド研修14人、新宿御苑ガイド研修25人 (4) 自主活動グループへの支援 林芙美子記念館ガイドを中心とした勉強会及び朗読グループ、展示ガイドを中心とした勉強会等へのサポートや活動・発表機会を提供
	ミュージアムショップ	(1) ミュージアムショップ合計 売上数6,426点、売上金額3,191,604円 (実質収入 2,743,036円) ①新宿ミニ博物館及び新宿関連書籍等委託販売 655点 599,753円 うち収入151,185円(販売手数料) ②オリジナルグッズ 3,844点 913,781円 ③刊行物 1,927点 1,678,070円 ④新宿区委託販売 32点 31,200円(手数料収入なし) (2) 新規・追加作成 新規作成 どうぶつシール2種 各1,000部 Shinjuku grand terminalアクリルコースター 500部 絵はがき 佐伯祐三「鯖」 500部 追加作成 絵はがき 林芙美子「花のいのち」 500部 絵はがき 林芙美子「書斎の芙美子」 500部 絵はがき 佐伯祐三「下落合風景」 500部 絵はがき 江戸名所図会「十二荘」 500部 刊行物増刷 落合日記 1,000部

地域の歴史の記録 保存及び普及啓発	地域文化ネットワークの推進	(1) 地域文化ネットワーク ①文化ネットワーク連絡会 1回 参加機関 37ヶ所 (2) 新宿区内地域協働事業 ①ワークショップ(2回) 30人(1回) 連携先：株式会社東京堂 ②中野区立哲学堂公園との連携 講談の相互紹介(8・9月) 林芙美子記念館クイズラリー(11月) ③投扇興 1回実施(神楽坂投扇興の会) 延べ参加者：39人 (3) 地域への協力・支援 ①クリアソン新宿「新宿の日」写真展協力 協力先：クリアソン新宿 ②広報紙「いづか」地域の歴史欄寄稿 協力先：戸塚地区協議会 ③新宿東口映画祭 協力先：武蔵野興業株式会社 ④新宿区観光振興協会 社員研修 協力先：新宿区観光振興協会 ⑤中村屋新人研修(展示室解説) 協力先：株式会社中村屋 ⑥平和展 協力先：区総務課 ⑦勉強会講師 協力先：シルバー人材センター柏木班 ⑧チケット協賛 協力先：早稲田大学理工展 ⑨四谷デ・イスパリーキャンプ 協力先：ホテルウイング インターナショナル プレミアム東京四谷 ⑩Yotsya Art Month スタンプラリー 協力先：ミックギャラリー ⑪職層研修 協力先：区総務部人材育成センター ⑫駅からハイキング 協力先：JR東日本 新宿駅 ⑬講師派遣 協力先：北新宿図書館 ⑭講師派遣 協力先：東京都水道歴史館 ⑮染の小道 協力先：染の小道実行委員会 ⑯ミッテ区青少年交流事業 協力先：区多文化共生推進課 ⑰神楽坂ストリート川柳 協力先：神楽坂おかみさん会 (4) ふれあいトーク 7件
------------------------------	----------------------	---

◎参考資料

- 1 新宿区立新宿歴史博物館等文化・歴史施設の指定管理者
の管理業務に係る事業評価に関する要綱・・・・・・・・・・参考資料 1
- 2 事業評価委員会委員名簿・・・・・・・・・・参考資料 2
- 3 事業評価委員会開催実績・・・・・・・・・・参考資料 3

参考資料 1

新宿歴史博物館等文化・歴史施設の指定管理者の管理業務に係る事業評価に関する要綱

(目的)

第1条 この要綱は、新宿歴史博物館等文化・歴史施設の指定管理者が実施した管理業務に係る事業を評価するにあたり、必要な事項を定めることを目的とする。

(事業評価委員会の設置)

第2条 区長は、指定管理者が行う新宿歴史博物館等文化・歴史施設の管理業務に関する評価(以下「評価」という。)を行なうため、新宿歴史博物館等文化・歴史施設指定管理者事業評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

2 委員会は次の施設の評価を行うものとする。

- (1) 新宿歴史博物館
- (2) 林芙美子記念館
- (3) 佐伯祐三アトリエ記念館
- (4) 中村彝アトリエ記念館
- (5) 漱石山房記念館

3 委員会は年度ごとに設置し、前項の評価の終了をもって廃止する。

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる職にある者につき、区長が委嘱し、又は任命する委員6名をもって組織する。

- (1) 外部有識者 4名
- (2) 内部委員 2名

2 委員会に委員長を置き、委員長は内部委員の中から任命する。

3 委員長は、委員会を代表し会務を総理する。

4 委員長に事故あるときは、委員のうちから委員長があらかじめ指名した者がその職務を代理する。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、委嘱した日又は任命した日から所定の評価業務が終了した日までとする。

(委員会の開催)

第5条 委員会は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

2 委員長は、過半数以上の委員の出席がなければ、委員会を開くことができない。

3 委員長は、必要に応じ、委員以外の者を委員会に出席させることができる。

(評価の基準)

第6条 評価は、次に掲げる項目について、別に定める評価の基準により行なうものとする。

- (1) 施設の管理業務に関すること
- (2) 施設の運営方法に関すること
- (3) 管理経費の収支状況に関すること

(4) その他委員会が必要と認める事項

(評価方法)

第7条 委員会は、前条の評価を次のとおり行う。

(1) 指定管理者が提出した事業実施報告書による評価

(2) 指定管理者に対するヒアリングによる評価

(評価結果の決定)

第8条 区長は、文化観光産業部文化観光課が取りまとめる委員会の評価を踏まえ、評価結果を決定する。

(評価対象)

第9条 委員会が行う評価の対象は、当該年度の前年度に実施した管理業務とする。

(委員会の庶務)

第10条 委員会の庶務は、文化観光産業部文化観光課が処理する。

(補則)

第11条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成20年6月26日から施行する。

この要綱は、平成23年6月30日から施行する。

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

この要綱は、令和3年4月1日から施行する。

この要綱は、令和3年6月1日から施行する。

この要綱は、令和4年6月1日から施行する。

参考資料 2

新宿歴史博物館等文化・歴史施設

令和7年度事業評価委員会 委員名簿

所属等	氏名
大東文化大学文学部教授(博物館学)	宮瀧 交二
税理士	加藤 弘美
朗読の会「ふみのしおり」主宰	岩田 理加子
榎町地区町会連合会会長・ 早稲田町町会長	夏山 勇
文化観光産業部産業振興課長	内野 桂子
教育委員会事務局教育調整課長	徳永 創

参考資料 3

新宿区立新宿歴史博物館等文化歴史施設の 指定管理者の管理業務に係る事業評価委員会の開催実績

1 日 時 令和8年7月31日(金) 午後1時30分から5時まで

2 場 所 新宿歴史博物館 二階 講堂

3 出席者

加藤委員、岩田委員、夏山委員、内野委員、徳永委員

※【欠席】宮瀧委員

*委員のほか

指定管理者（事業説明及び質疑応答のため8名）

事務局（文化観光課長 ほか2名）

4 会議内容

(1) 開会あいさつ・委員紹介

(2) 評価方法の説明

(3) 新宿歴史博物館、林芙美子記念館、佐伯祐三アトリエ記念館、中村彝アトリエ記念館、漱石山房記念館の指定管理者の評価について

ア 指定管理者事業説明

イ 事業説明に関する質疑応答

ウ 各委員による評価

エ 評価に基づく意見交換